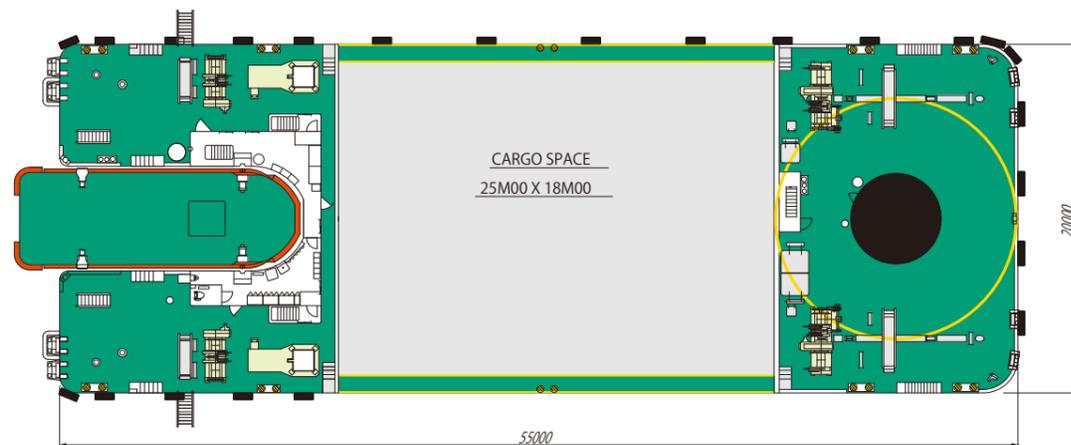
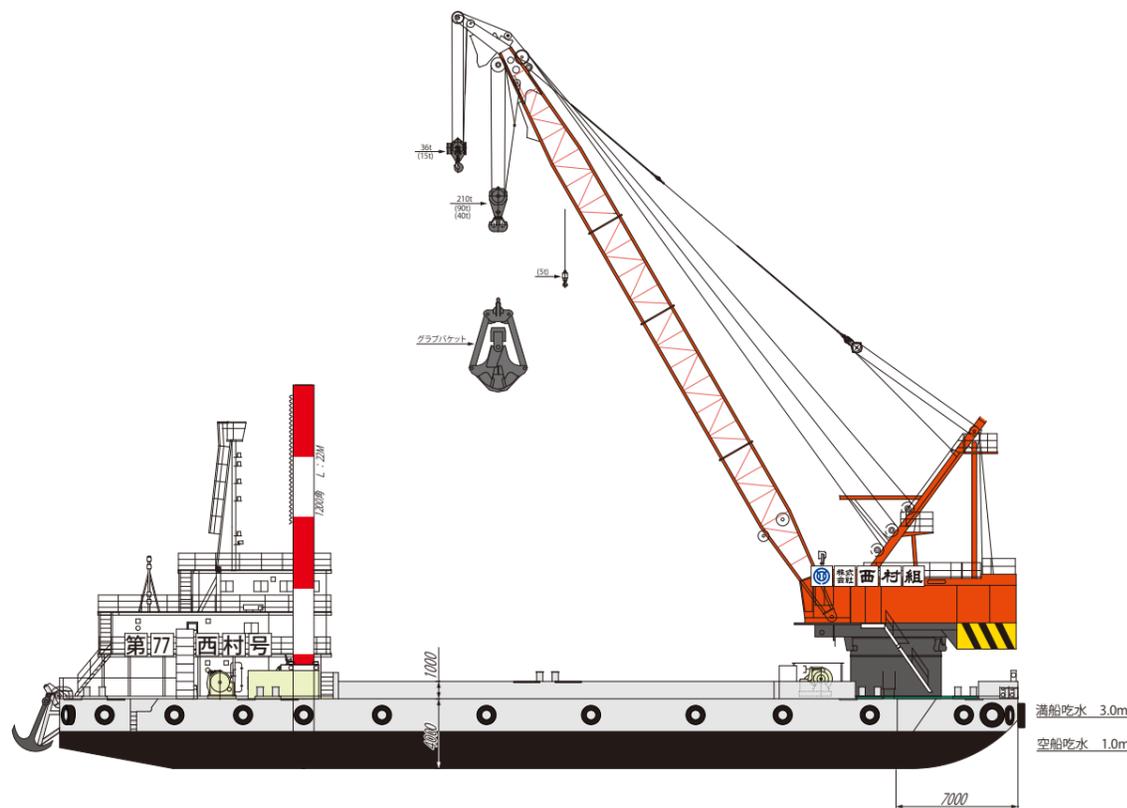


押航型210ton吊全旋回式起重機船兼6m³級グラブ浚渫船

第77 西村号

クレーン吊能力210t
直巻能力24t

No.77 NISHIMURA



■クレーン仕様		■台船部仕様		■グラブ・砕岩仕様		■船体設備	
主巻最大吊能力	210t×9.0m	台船寸法 L×B×H	55m×20m×4.0m	直巻能力	24ton	操船ウインチ・ウインドラス	
主巻作業半径	8.2~36.1m	吃水	1.0m	軽量型 (P.L.)	6m3×12t	船首ウインチ能力(ワイヤー)	7.5/3.75t×12/24m/min 33.5φ×300m×2基
主巻揚程 (甲板上)	最大33.0m	船員室	11室	標準型 (P.L.)	5m3×14t	船首ウインチ能力(ロープ)	7.5/3.75t×12/24m/min 60φ×200m×2基
主巻アウトリーチ	最大29.1m	■パワープラント		重量型 (P.L.)	4m3×16t	船首ウインドラス能力(チェーン)	9.0/4.5t×9/18m/min 36φ×200m×2基
補巻最大吊能力	36.0t×30.8m	クレーンエンジン	キャタピラー C18 ACERT	砕岩棒	15ton	船尾ウインチ能力(ワイヤー)	10.0/5.0t×12/24m/min 33.5φ×300m×2基
補巻作業半径	9.5~39.5m	主発電機	522kW×1900rpm (定格出力)	ジブ長さ	37m	船尾ウインチ能力(ロープ)	8.8/4.4t×13.5/27m/min 60φ×200m×2基
補巻揚程 (甲板上)	最大36.0m	補助電機	300kVA×1基	巻上速度	0~57m/min	スバット設備	角型2基
補巻アウトリーチ	最大32.5m		100kVA×1基	巻下速度	0~100m/min	スバット	□1200×長さ22m
巻上速度 (フック)	主巻0~7.5m/min 補巻0~17.6m/min			浚渫深度	水面下鉛直最大30m	スバット作業水深	水面下15m
旋回速度	0~1.8rpm					サイドスラスタ	TFN-200S 推力2.0t×1基



北海道紋別郡湧別町栄町133番地の1
TEL (01586) 5-2111 FAX (01586) 5-2700 <http://www.nishimura.co.jp/>



札幌支店/札幌市東区北26条東14丁目1番1号 TEL (011) 752-8200
紋別支店/紋別市港町1丁目 TEL (0158) 24-3413

道東営業所/釧路市錦町5丁目3番地 ミツ輪ビル5F TEL (0154) 25-5669
函館営業所/函館市本町26-18 第2名美ビル TEL (0138) 53-5144
東北営業所/岩手県大船渡市大船渡町宇山馬越210番地1 TEL (0192) 47-5526





押航型210ton吊全回転式起重機船兼6m級グラブ浚渫船

第77西村号

あらゆる港湾漁港工事に対応可能な機動力の高い作業船



IMO 排出ガス 2次規制認証エンジン



クレーン操縦室



ピンローラー式スパッド



操船室



■ピンローラー式スパッドの採用

ピンローラー式スパッドを採用することで、迅速な船体セットが可能です。また、ピンローラーによって、浅い水深から深い水深までスムーズな対応が可能です。

■専用プッシャー船による回航時の安全性向上

本船は専用プッシャー船が入り込むように設計されております。これにより、本船とプッシャー船の一体性が良くなり、回航時の安全性が向上しております。

■施工管理システムの導入

作業船の位置管理を行えるよう、本船とクレーン先端部にそれぞれGPSを設置しています。これにより、位置精度の高い施工が可能となります。

■ゆとりのある積載スペース

積載部の大きさは25m×18m、積載可能重量は1,200tと、210t吊起重機船としてはクラス最大級の積載スペースを有しています。

■エクストラドラムを装備したマルチクレーン

起重機船は吊作業と砂・石などの投入作業を行います。本船では主巻ドラム、補巻ドラム、さらには雑用ドラムを搭載することで、従来よりも作業切り替えにかかる時間短縮を可能にしています。したがって、ケーソン据付作業などでは一連作業を効率良く施工することができます。

■直巻能力24t

直巻能力は24tを有し、6m級グラブ浚渫も可能です。

■大水深に対応するアンカーチェーン装備

スパッドが届かない水深帯でも施工できるよう、アンカーチェーンを装備しています。

■居住区の充実

船内は乗組員が快適に居住できるよう、居住設備を充実させています。

■サイドスラスタの装備

スムーズな作業船のセット及び作業効率の向上のため、本船はサイドスラスタを有しております。

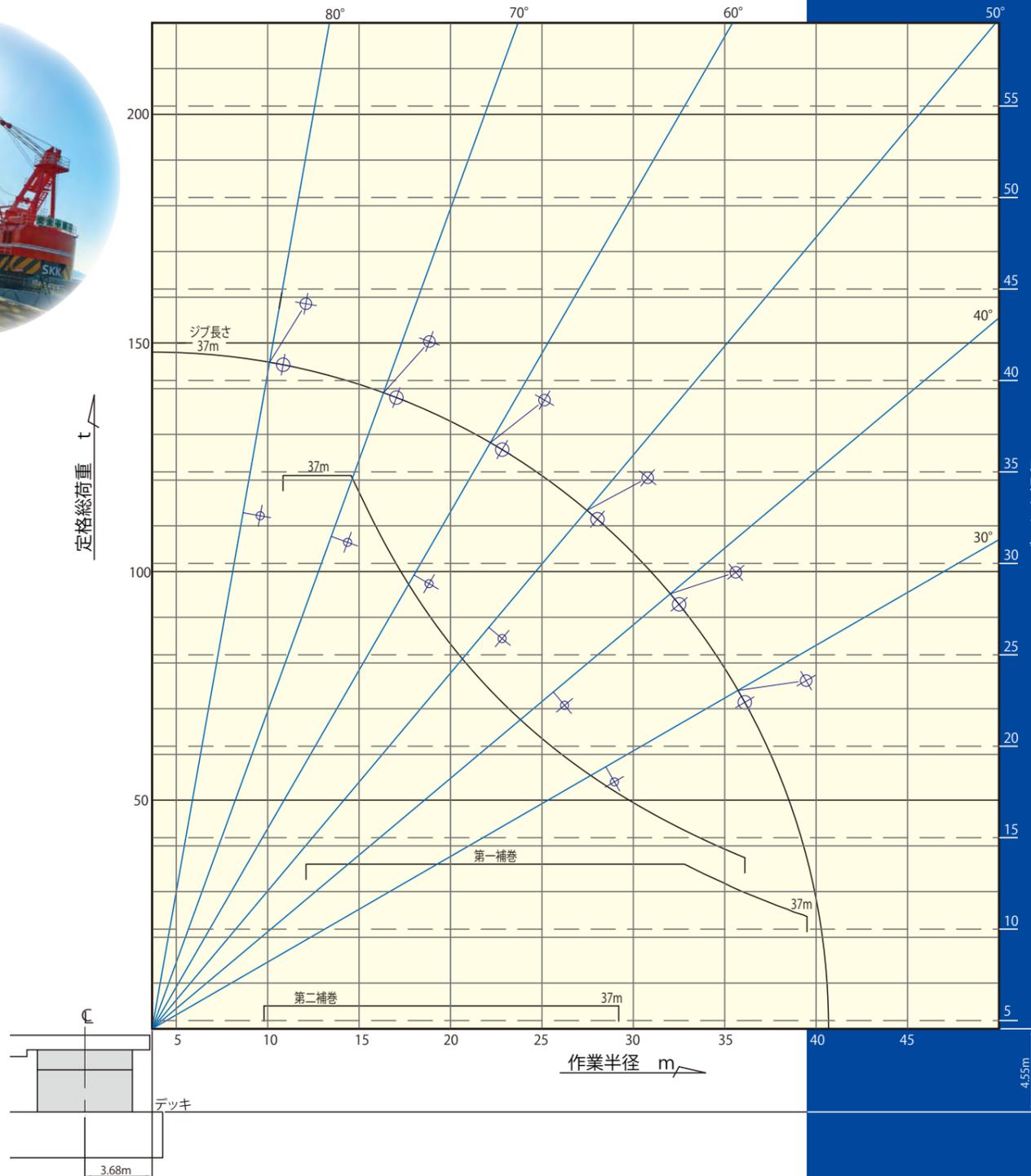
■IMO国際海事機関による排出ガス2次規制認証エンジンの搭載

環境に配慮し、IMOによる排ガス規制の認証を受けたエンジンを搭載しています。

■HHOガス補助燃料装置の装備

水を電気分解することでエンジンの補助燃料を供給することができる装置を装備しています。

■定格総荷重



■定格総荷重表 (主巻 210t / 第一補巻 / 第二補巻)

ジブ長さ	ジブ角度	ジブ長さ												
		30°	35°	35°	45°	50°	55°	60°	65°	70°	74°	75°	80°	
37m	主巻	定格総荷重 t	37.4	40.3	40.3	48.6	54.4	61.8	71.4	84.2	101.7	121.0		
		作業半径 m	36.1	34.4	34.4	30.4	28.0	25.5	22.8	20.0	17.0	14.6	14.0	10.8
		デッキ上揚程 m	22.4	25.2	25.2	30.2	32.4	34.4	36.2	37.8	39.1	39.9	40.1	40.9
37m	第一補巻	定格総荷重 t	36.0											
		作業半径 m	39.5	37.7	37.7	33.3	30.8	28.1	25.1	22.1	18.8	16.2	15.5	12.1
		デッキ上揚程 m	23.6	26.6	26.6	32.2	34.7	36.9	38.9	40.7	42.1	43.1	43.3	44.2
37m	第二補巻	定格総荷重 t	5.0											
		作業半径 m	29.2	27.9	27.9	24.8	23.0	21.1	19.0	16.9	14.6	12.7	12.2	9.8
		デッキ上揚程 m	18.1	20.2	20.2	24.1	25.9	27.5	28.9	30.1	31.1	31.8	32.0	32.6

実際に吊り上げることのできる荷重は、表の定格総荷重から吊り具等の質量を差引いた値となります。
 ●主巻 (雑用) 210t フック質量 6.0t ●第一補巻 36t フック質量 1.5t ●第二補巻 5t フック質量 0.2t

デッキよりポイント中心までの距離を記す